政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－１　介護予防と生きがいづくりの促進

指標NO	49

指標名	高齢者が、生きがいを持ちいきいきと暮らしている	単位	%

担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	35.0	43.0	50.0	△
現状値	27.1	27.2	－	－	

目標設定の考え方	超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者が生きがいを持ち、地域で元気にいきいきと暮らすことは、活力ある地域社会の実現に極めて重要であることから、健康維持・増進や生きがいづくりを推進することとして、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

これまで生きがい対策として各種事業を実施していることに加え、人口減少社会の到来や少子超高齢化という社会構造の変化に対応するため、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築・強化を開始したところである。こうした多様な高齢者施策により、高齢者が健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう介護予防や健康づくりの充実、日常生活の支援や地域づくりにおいて、地域の方々が担い手として幅広い分野で活躍できる仕組みを整えているところである。

こうした取組みがまだ始まった直後であること、また、こうした施策の充実の財源ねん出のため、生きがい対策事業を適宜見直していることについて周知が不足していることなどから、平成26年度末目標値35%を達成できなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後、限られた財源で高齢者施策を実施するうえで、生きがい対策に係る更なる事業見直しが行われる可能性が考えられるが、高齢者の生きがい充実に向けた費用対効果の高い事業にシフトすることに加え、健康でいきいきと自立した生活を続けられるための地域包括ケアシステムの構築を進めることで、より多くの高齢者が生きがいを持ちいきいきと暮らしていく実感を持てるような社会の構築を進めていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	いきいきプラザの改修	稲毛いきいきプラザ給湯設備改修	修繕計画策定	実施設計・工事	改修完了	改修完了	達　成	8,211

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ことぶき大学校運営	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実践ｺｰｽ、創造活動ｺｰｽ	運営	運営	運営	運営	達　成	87,400
2	シルバー人材センター運営補助	運営補助金の交付	１か所	１か所	１か所	1か所	達　成	362,300
3	高齢者いきいき健康園芸	参加者数	200名／年	600名／年	200名／年	197名／年	未達成	3,164
4	いきいきプラザ・いきいきセンター管理運営	いきいきプラザ、いきいきセンターの運営	いきいきプラザ　６ヶ所 いきいきセンター　９ヶ所	いきいきプラザ　６ヶ所 いきいきセンター　９ヶ所	いきいきプラザ　６ヶ所 いきいきセンター　９ヶ所	いきいきプラザ　６ヶ所 いきいきセンター　９ヶ所	達　成	1,851,231
5	いきいき活動外出支援	補助人数	4,029人	16,316人	6,848人	6679人	達　成	19,795

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－１　介護予防と生きがいづくりの促進

指標NO	50

指標名	この１年間に、地域活動やボランティア活動に参加したことがある	単位	%

担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	30.0	35.0	40.0	○
現状値	23.8	27.7	－	－	

目標設定の考え方	少子超高齢化が進む中、元気な高齢者は地域活動の重要な担い手として期待されていることから、高齢者の地域活動への参加を促進する施策を展開していくことを勘案して目標値を設定した。

【達成状況の分析】

NPO法人の活動の促進、ボランティアデータベース「ちばぼら」の運用、千葉市民活動フェスタにおける地域活動等のPR、シニア世代が地域活動等を行うことへの支援、千葉市ボランティアセンターの支援などを行い、地域活動等を促進してきた。
シニア世代に特化したことぶき大学校において地域活動等を行うことの支援として「地域活動実践講座」を全受講生の必須科目としており、受講生からは高い評価を受けているが、受講生は限られており、彼らの活動が地域全体に広まるには長い目で見る必要があり、平成26年度末目標値を達成できなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

上記取り組みを継続・充実することに加え、高齢者が健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう介護予防や健康づくりの充実、日常生活の支援や地域づくりにおいて、地域の方々が担い手として幅広い分野で活躍できる仕組みを整えることで、地域活動やボランティア活動の促進を図っていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民公益活動支援システムの構築	ボランティアシステム	データーベース作成、一部開発・運用	開発	運用	運用	達　成	1,030
2	市民公益活動支援システムの構築	NPO法人認定・認証システム	開発準備	開発	運用	運用	達　成	

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ことぶき大学校運営	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ実践ｺｰｽ、創造活動ｺｰｽ	運営	運営	運営	運営	達　成	87,400
2	老人クラブ育成	活動に対する助成	助成	助成	助成	助成	達　成	52,448
3	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	ボランティアの登録受付（登録者数）	個人313人 団体66団体	個人400人 団体85団体	個人400人 団体85団体	個人341人 団体80団体	未達成	543,433
4	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	情報の発信及びコーディネート（コーディネート件数）	118件	118件	150件	198件	達　成	
5	市民公益活動促進事業	WEBサイト「ちばぼら」	運営	運営	運営	運営	達　成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－１　介護予防と生きがいづくりの促進

指標NO	51

指標名	介護・支援を必要としない高齢者の割合	単位	%

指標の説明	要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合	担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	ー	86.0	87.0	88.0	△
現状値	85.0	85.1	－	－	

目標設定の考え方	健康づくりや介護予防に関する取組みなどを通じ、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合を増加させていくこととして目標値を設定した。

【達成状況の分析】

健康づくりや介護予防に関する取組みなどを広範に実施しており、要介護・要支援認定を受けていない高齢者は大幅に増加したものの、高齢者人口の増加及び高齢者寿命の延伸により、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合は微増にとどまることとなり、目標値には達しなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後、後期高齢者の大幅増加が見込まれることから、目標値の達成は厳しい状況ではあるが、健康づくりや介護予防に関する取組みを継続・充実することに加え、地域包括ケアシステムの構築の推進により、介護予防全般の強化を図ることで、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合の増加を図っていくこととする。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	介護予防の推進	歯っぴー健口教室	―	24コース/年	24コース/年	24コース/年	達　成	0
2	介護予防の推進	ヘルスアップ運動教室	―	32コース/年	32コース/年	32コース/年	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	いきいきプラザ・いきいきセンター管理運営	いきいきプラザ、いきいきセンターの運営	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	達　成	1,851,231
2	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893
3	二次予防事業対象者把握	基本チェックリストの実施（対象者数）	10,556人	15,203人	15,203人	10,999人	未達成	97,987
4	シニア健康づくり教室	参加者数	7,676人	28,500人	9,500人	7,301人	未達成	53,220

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－２　地域生活支援の充実（高齢者）

指標NO	52

指標名	一人暮らしや支援の必要な高齢者が、地域で見守られて安心して暮らすことができる	単位	%

担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	30.0	37.0	45.0	△
現状値	22.9	25.8	－	－	

目標設定の考え方	超高齢社会が進展する中、一人暮らしや支援の必要な高齢者が地域で安心して暮らすためには、行政や関係機関との連携による地域での見守りが極めて重要であることから、様々な主体による地域の支えあい活動を推進することとして、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

地域見守り活動への支援、あんしんケアセンターの整備、認知症対策の各種施策に加え、民生委員・児童委員活動を実施することで、地域の見守りを直接・間接的に支援してきたところであり、着実に指標数値は伸びたところであるが、一部地域では少子高齢化により自治会などの主体そのものの活動力の低下傾向もみられ、目標値には達しなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

上記取組みを継続・充実することにより、地域の見守り活動を促進するとともに、地域包括ケアシステムの構築の推進により、地域で支え合う仕組みの強化及び様々な活動主体を育成していくことで、地域で見守られて安心して暮らすことができているという実感の醸成を図っていくこととする。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の整備	あんしんケアセンター	12か所	12か所増	24か所	24か所	達　成	670,898
2	認知症疾患医療センターの設置	認知症疾患医療センター	―	設置	設置	設置	達　成	5,950
3	地域見守り活動への支援	助成	4団体	30団体増	34団体	34団体	達　成	4,553
4	若葉区地域福祉団体活動支援	地域福祉団体活動助成	―	10件/年	10件/年	10件/年	達　成	480

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	成年後見支援センター運営	センターの運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達　成	29,702
2	認知症サポーター養成	養成人数	11,511人	9,000人	21,000人	24,831人	達　成	1,533
3	民生委員・児童委員活動	委員数	1,423人	1,434人	1,434人	1,460人	達　成	553,671

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－２　地域生活支援の充実（高齢者）

指標NO	53

指標名	あんしんケアセンターにおける相談受付件数	単位	件

指標の説明	あんしんケアセンターにおける相談受付件数	担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	33,000	39,000	43,000	◎
現状値	20,943	33,622	－	－	

目標設定の考え方	より多くの市民が気軽に相談することのできる窓口として、あんしんケアセンターの相談支援体制の拡充・強化を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

平成26年度より、包括三職種（保健師または、地域保健等に関する相談業務の経験を有する看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員）の人数を82人から102人に増員したことに加えて、民生委員やケアマネジャーとの意見交換会や勉強会等にて、あんしんケアセンターの周知活動を積極的に行った結果、顔の見える関係を築くことができ、関係機関からの依頼も増加したことなどにより、相談受付件数が増加したものと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後、研修等をさらに充実させ、包括三職種の資質向上を図り、より適切な相談援助を行っていけるよう取り組んでいく。
また、高齢者の増加に伴い、日常生活圏域を再設定し、あんしんケアセンターを増設するとともに、適切に包括三職種を増員し、より多く市民が気軽に相談できるよう機能強化を図っていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の整備	あんしんケアセンター	12か所	12か所増	24か所	24か所	達　成	670,898

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の運営	あんしんケアセンターの運営	12か所	24か所	24か所	24か所	達　成	999,150

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－３　介護保険サービスの充実

指標NO	54

指標名	ヘルパー事業所や施設など、高齢者の介護を支えるサービスの提供体制が身近に充実している	単位	%

担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	40.0	45.0	50.0	△
現状値	33.5	34.9	－	－	

目標設定の考え方	超高齢社会において、介護が必要な高齢者の増加が見込まれることから、ヘルパー事業所や施設などの介護サービスの提供体制の充実など、サービス提供基盤の充実を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

広域型特別養護老人ホームについては、計画のとおり選定することができた。
小規模特別養護老人ホームの整備が目標の116人増に対し29人に、社会福祉施設整備のうち複合型サービスが目標の6事業所増に対し2事業所増に、介護人材の確保が目標の250人支援に対し200人にとどまった。
小規模特別養護老人ホームの整備が目標に達しなかった理由は、東京オリンピック開催の影響で建築資材、労賃等の整備コストが高騰したにもかかわらず定員が29人と少ないことから、事業者の参入が低調となったためである。
また、複合型サービスの整備が目標に達しなかった理由は、看護師の確保が困難なためである。
さらに、介護人材の確保が目標に達しなかった理由は、各養成校の受講生が減少傾向にあることが推測される。

【課題及び今後の取組みの方向性】

小規模特別養護老人ホームの整備については、東京オリンピック開催の影響は今後一層大きくなると見込まれることから、第6期介護保険事業計画に基づき、原則として募集しないこととした。
また、複合型サービスの整備については、看護師の確保が困難な状況は今後も続くと見込まれることから、第6期介護保険事業計画に基づき、同サービスから訪問看護サービスを除いた小規模多機能型居宅介護の整備を優先させることとした。
さらに、介護人材の確保については、平成27年度より、住所や資格取得日等の要件緩和を実施したところであり、今後も助成件数の拡大に努める。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホーム	定員　2,592人	460人増	3,052人	3,242人	達　成	2,269,410
2	特別養護老人ホームの整備	小規模特別養護老人ホーム	定員　58人	116人増	174人	87人	未達成	
3	介護人材の確保	ホームヘルパー2級資格取得支援	―	250人	250人	200人	概ね達成	8,724

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	認知症介護等研修	修了人数	236人	708人	236人	233人（3か年平均243人）	達　成	19,800
2	社会福祉施設整備 （定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス）	補助金の交付	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 １事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ５事業所 複合型サービス ６事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ６事業所 複合型サービス ６事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ６事業所 複合型サービス ２事業所	未達成	33,428
3	介護保険サービス（居宅サービス）	サービス利用者数（見込み）	17,421人／年	61,753人	22,185人／年	23,831人／年	達　成	76,594,425
4	介護保険サービス（施設・居住系サービス）	サービス利用者数（見込み）	6,565人／年	22,483人	7,972人／年	10,042人／年	達　成	63,446,326

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	２－４－３　介護保険サービスの充実

指標NO	55

指標名	介護保険サービス事業所数	単位	か所

指標の説明	市内の介護保険サービスの事業所数	担当局（区）	保健福祉局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	1,400	1,600	1,800	◎
現状値	1,192	1,435	－	－	

目標設定の考え方	過去の要支援・要介護認定者数の伸び率を踏まえ、必要な事業所数を確保することとして目標値を設定した。

【達成状況の分析】

指定居宅サービス事業者等連絡会議等において、介護保険制度の改正、報酬改定等の情報提供を行うなど新規参入を促した結果、平成26年度末は目標値である1,400事業所を上回る結果となった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

引き続き、指定居宅サービス事業者等連絡会議等において介護保険制度の改正、報酬改定等の情報提供を行い、民間事業者の参入を促す。また、地域密着型サービスとして、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などへの事業者の参入を促進していくほか、施設サービスとして、特別養護老人ホームの計画的な整備を推進していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホーム	定員　2,592人	460人増	3,052人	3,242人	達　成	2,269,410
2	特別養護老人ホームの整備	小規模特別養護老人ホーム	定員　58人	116人増	174人	87人	未達成	
3	介護人材の確保	ホームヘルパー2級資格取得支援	―	250人	250人	200人	概ね達成	8,724

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	認知症介護等研修	修了人数	236人	708人	236人	233人（3か年平均243人）	達　成	19,800
2	社会福祉施設整備 （定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス）	補助金の交付	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 １事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ５事業所 複合型サービス ６事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ６事業所 複合型サービス ６事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ６事業所 複合型サービス ２事業所	未達成	33,428